

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 20 日作成)

小委員会名	劇場・ホール小委員会		主 査 名： 森田 孝夫 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会		委員長名：服部岑生 主 査 名：
設 置 期 間	2004 年 04 月 ~ 2006 年 03 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇場・ホールに関する知見を一般市民に伝える。 ・ 劇場・ホールの研究を整理・紹介する。 ・ 文化施設としての劇場・ホールのプログラムの見直しを行う。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無： 有り		
	森田孝夫(京都工芸繊維大学), 川口和英(鎌倉女子大学), 佐藤慎也(日本大学) 小沢直(日本大学), 坂口大洋(東北大学), 阪田弘一(京都工芸繊維大学), 戸田直人(シアター・ワークショップ), 長谷川祥久(香山壽夫建築研究所), 林秀樹(ACT 環境計画), 永井聡子(知立市文化会館), 永井久夫(竹中工務店), 上田泰孝(間組), 古橋祐(昭和音楽大学)		
設置 WG (WG 名:目的)	「ホール地域計画研究」WG 高齢・少子社会における新しい地域社会状況のなかで, 劇場・ホールの方法を体系づけていくために調査研究を行い, 出版企画を準備する。		
2005 年度予算	144,000 円	ホームページ公開の有無: 有り 委員会 HP アドレス:	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む)(シンポジウム回数を除く)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. ミューザ川崎シンフォニーホールシンポジウム「これからの音楽空間のあり方」 参加者数 109 名 2. 聖学院チャペルシンポジウム(見学会・研究会)(音響学会などと共催) 3. 「小さくつくり大きく変える 都市における小劇場を問い直す」 iwato ワークショップとシンポジウム 参加者数 65 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. ミューザ川崎シンフォニーホールでは生演奏を聴きながら, アリーナ型ホールの音響を聴覚で考える企画を成功させた。 2. iwato では劇団黒テントの協力を得て, さまざまなエチュードを行うワークショップを催して, 小空間を劇的に体感する企画を成功させた。
委員会活動の問題点・課題	1. 不参加委員を公募委員と入れ替えて, 小委員会を一層活性化させたい。 2. 公共ホールの運営企画がますます重要になり, その専門委員が 1 名(永井聡子委員)しかいないので, 次年度は増やしたい。